

発行人：宮本ひでき



今できることを 今するのが私の仕事です。

職業 新見市議会議員
行政書士

経歴

平成24年12月新見市役所退職
平成25年度4月新見市議会議員（1期目）
平成27年4月総務常任委員会副委員長
平成29年4月新見市議会議員（2期目）
令和元年5月総務消防常任委員長
令和3年4月新見市議会議員（3期目）
令和3年5月議会広報特別委員長
令和5年5月議会広報特別委員長
令和7年5月議会広報特別委員長（4期目）
令和7年5月議会運営委員会副委員長
その他
平成25年度4月新見市農業委員
平成30年4月新見高校PTA会長

車がなくても暮らせるまち

新見駅の構想は

令和7年9月定例会

令和7年9月新見市議会定例会は、9月1日から9月26日までの26日間開催されました。1日目の3番目の質問者として一般質問をしました。

新見駅バリアフリー計画決定

南北通路の概要は

問 新見駅バリアフリー化事業については、平成26年（2014年）以来、同僚議員を含め、私自身も繰り返し一般質問で取り上げてまいりました。すでに10年以上にわたり、「市民の切実な声」として、議会の場で訴え続けてきた長年の課題であります。令和7年6月、石田市長の定例記者会見において、いよいよ新見駅のバリアフリー化事業が正式に公表されました。多くの市民や利用者が長く望ん

由「通路」の北口と南口を結ぶ「南北自

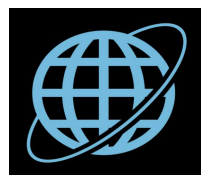


できたこの事業が、やっと現実のステージに上がってきました。こちらが記者発表の場で示された完成予想図です。

にいまタイムズ

今できることを
今するのが私の仕事です。

発行
宮本英基
新見市高尾1958番地7
0867-72-7671
090-9733-7671
info@miyamot
ohideki.jp



miyamotohideki.jp



友だち募集中！



YouTube



利用者の利便性が大きく改善される計画です。ご承知のとおり、新見駅は年間40万人の方が利用されています。市民生活や観光振興の拠点です。しかし、現在の駅舎は、線路北側に位置し、出入口は、一か所に限られています。ホームへの移動は、地下道を経由し、階段を上り下りしなければならず、高齢者や障がいのある方や観光で訪れる方々にとっては、大きな負担となつていきます。長年にわたり「何とかしてほしい」という声が市民から絶えず寄せられているところなのです。

また、主要観光施設の一つである新見美術館は、線路南側に立地しており、現状では、アクセスが不便で、課題ともなっています。南北自由通路の整備は、単なる利便性向上にとどまらず、観光振興や地域のにぎわい創出にも直結するものです。

石田市長は、この事業を公約に補助金の活用を検討し、早期実現に向け全力で取り組む。そして駅の南北一帯を再開発し、まちの活性化につなげていく」と力強く発言されておられます。

今回の一般質問におきましては、まず本市として、新見駅バリアフリー化にどのような具体的な計画を描いておられるのかお尋ねいたします。

そして、駅南側に広がるJR西日本の空き地について、将来的にどのような活用を考えているのか、まちづくりとの一体性を考えた見解を伺いたいと思います。

1 項目目新見駅バリアフリー化

事業について
1 点目新見駅の南北自由通路の構造及び総事業費をお示しく下さい。
2 点目駅南側のJR西日本が所有している土地の計画はあるのかお考えをお示しく下さい。

答 通路の南北にエレベーターと階段の整備と併せて、自由通路から伯備線ホームに接続し、専用改札エレベーターを設置します。総事業費は概算で30億です。内訳は、既存の改札から姫新線 芸備線ホームに接続するスロープなどを含め、JRと交渉を進め令和9年までに協定を結び令和11年までに完成する予定です。

問 新見駅南側のJR西日本の空き地の扱いは

答 他の用地はJRの意向を踏まえ活用などを調査研究する中で取得する必要も検討します。

乗合タクシーをもつと便利に

王守・時間差（乗入できない）

問 本市では、過疎化や高齢化が進む中で、地域公共交通の確保がますます重要な課題となっております。市内には、バス路線が存在するものの、本数や運行エリアには限界があるため、市民生活を支える移動手段を確保する目的で「乗合タクシー事業」が導入されています。

乗り合いタクシーの運行日は平日のみで、運行時間は8時30分から16時となっております。現在の運行エリアは新見北部・神郷・哲

西・哲多・大佐地区などとなっております。この事業は、バス路線の空白地域や利便性の低い時間帯を補い、高齢者や免許を返納された方をはじめとする交通弱者が、事前予約制によって自宅付近や地域内の指定場所から乗車できる仕組みとなっております。



【運行日】 月曜日～金曜日
(祝日・振替休日：8/13～15・12/29～1/3は運休)
【運行時間】 8：30～16：00
(目的地到着時刻が16：00を過ぎる予約はできません)
【運行受付】 8：00～15：30
(当日利用の場合は30分前までに予約が必要です)

さらに運賃も低価格に抑えられていることから、通院や買物、地域交流など日常生活における移動コストを軽減し、市民の暮らしを支える重要な公共サービスとなっています。

今後、過疎地域ではますます「なくてはならない交通手段」となっていくと、将来的に必要な課題や方向性について、質問をさせていただきます。

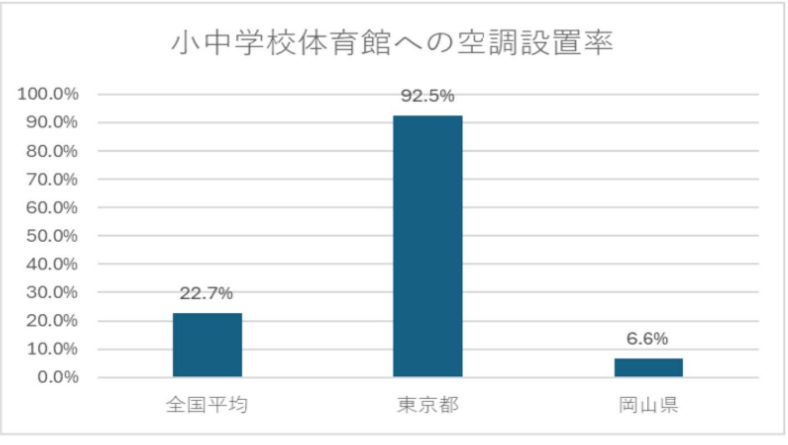
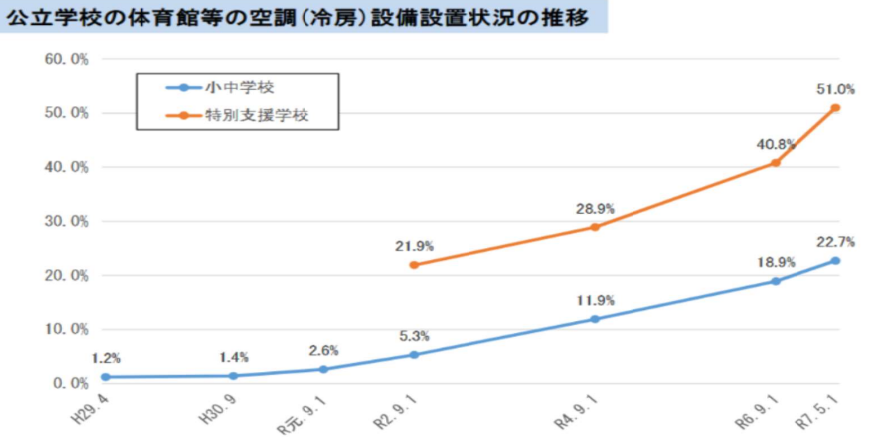
2項目目乗合タクシーについて
1点目本市における乗合タクシーは、高齢者の移動手段や公共交通空白地域の解消に重要な役割を果たしています。現在の運行体制と市としての今後の基本方針をお示しください。

答 新見北部 神郷 哲西 哲多 哲西 大佐 新見南西部地区で、月曜日から金曜日まで午前8時半から午後4時に車両16台で運行しています。令和8年までに市内全域で運行する予定です。運行日や運行時間の拡大、新見駅などの乗り入れは、全地域に乗り入れ後に検討します。

体育館にエアコン設置 設置の計画は

問 小中学校体育館のエアコン設置について、真夏の厳しい暑さの中での授業や部活動においては、児童生徒の健康被害や集中力の低下など深刻な影響が懸念され、また、災害時には多くの市民が避難することになり環境改善が喫緊の課題であり、体育館のエアコン設置は、教育環境の向上および防災拠点の機能強化の両面で極めて重要な課題と位置づけられます。加えて、国においても文部科学省の「学校施設環境改善交付金」を活用し、避難所機能を有する体育館等の空調設備整備補助が設けられており、財源面でも大きな後押しになります。

年度ごとの全国の公立体育館の空調設備の状況です。



実際 全国全体では令和7年5月時点で公立小中学校体育館等の空調設置率は22.7%に過ぎず、地域

調設置率は22.7%に過ぎず、地域格差も顕著で、東京都では90%超に対し、地方では数%レベルが目立つ整備状況となっています。その中で岡山県内の設置率は、現時点で約6.6%と全国平均を大きく下回っており、特に本市においては導入されていない状況です。こうした状況を踏まえ、市として本課題をどのように認識し、今後どのように整備に向けて取り組まれるのかお尋ねします。

答 真夏の授業や部活動、更に避難所としての活用するための環境改善が必要だと考えますが、市はこの課題をどのように認識しているかお示しください。

問 子どもたちの健康を守り、避難機能を強化する上でも必要だと感じています。財源については、国の交付金や有利な起債を活用します。施設の使用頻度、避難所機能を総合的に勘案し優先順位を設定したうえで設置します。

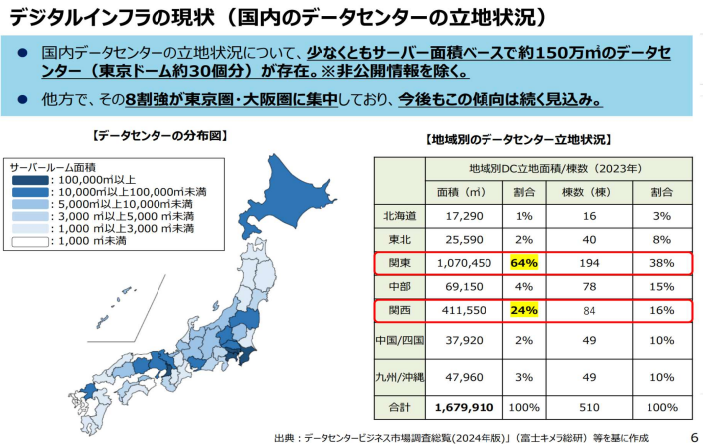
企業誘致の考えは データセンター誘致

問 企業誘致者について、市としての国のデータセンター誘致政策をどのように認識しているのかお考えをお示しください。

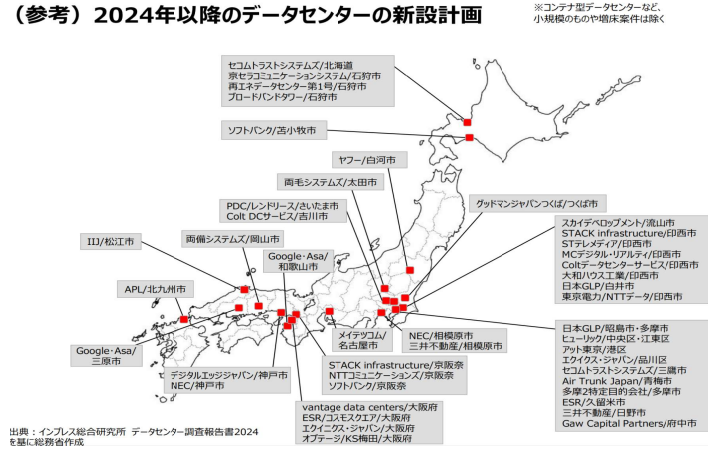
最近までパソコン等のデータは個人が各自で管理するものが一般的でしたが、現在はクラウドを通じてデータセ

ンターで保存されるようになってきています。

全国のデータセンターの設置状況で



国内のデータセンターは東京圏や大阪圏に約8割が集中しており、災害リスクなどが課題となっています。今後新たにできるデータセンターで



国は、全国各地に分散拠点を整備

することです。災害リスクを軽減し、高速通信網や再生可能エネルギーを活用したデータセンターを推進する施策を展開しています。

各種補助金や支援制度も設けられています。これらの取り組みは、国自治体、民間が連携して全国規模で進められます。

地方にあってデータセンター誘致は新たな産業振興となるとともに、雇用創出や税収増加、通信電力インフラの高度化、若者定着の促進など、多面的に大きなメリットが期待されます。そこで本市としてもこの動きをどのように捉え、今後どのように対応していくのか、市としての国のデータセンター誘致政策をどのように認識しているのかお考えをお示しください。

答 誘致については、新たな産業の創出や投資が期待されるなど、有意義な取り組みであると考えています。多くの条件をクリアする必要があると思いますが、本市としての適性や可能性課題について調査研究をしていきます。

議会の情報 令和7年9月定例会主な内容 メディカルクリニックへの管理委託料

公設国際貢献大学メディカルクリニックへの管理委託料1982万円を追加しました。今年度診療所、特別会計は、医療受診者の大幅な減少で生じた経営上の損失

を補う予算措置となることから、持続可能な医療体制の構築に向けて、専門家を交えた医療経営診断に基づく経営改善計画の支持と、根本的な運営見直しを求める付帯決議を加しました。

移住交流支援センター移転

平成29年4月に開設した神郷油野にある新見市移住交流センターについて、移住相談の利便性向上を図るため、新見駅前に新たな事務所を開設し相談窓口機能に移転します。内容としては、令和8年4月1日の開所に向けテナントの借り上げや、必要な設備を設置を行います。また、この移転に当たっては、これまで市で取り扱っていた空き家情報バンクや空き家関連の補助金業務を同事業所に置いて取り扱うことが決定しました。

